

「遺伝子・染色体構築セミナー」を開催

2014年7月25日

7月25日(金)にがん進展制御研究所棟4階会議室において、熊本大学大学院生命科学研究部 神経分化学分野 准教授の太田訓正先生を迎え、「バクテリアとの相互作用を介した細胞リプログラミング」と題して、がん進展制御研究所遺伝子・染色体構築セミナーを開催しました。

セミナーでは、網膜幹細胞におけるTsukushiの機能解析など、これまでの研究経緯の発表に引き続き、最近見つけられた乳酸菌との接触による細胞の未分化性獲得現象について、詳細なデータをご紹介いただきました。

セミナーには、所内外の研究者並びに大学院生ら三十数名が参加し、非常に活発な質疑応答や意見交換が行われました。セミナーの中では、がん細胞への影響やがん治療応用への展開に関する内容もあり、今後、がん研究を進める上で、大変重要な情報を得る機会となりました。



遺伝子・染色体研究分野セミナー

細菌との相互作用を介した 細胞リプログラミング

熊本大学大学院生命科学研究部・神経分化学分野
准教授

太田訓正 先生

【日時】平成26年7月25日(金) 17:00～18:30

【場所】がん進展制御研究所 4階 会議室

太田先生は、長年、器官形成研究に携わり、特に神経発生・網膜幹細胞などの制御に関わる分子のクローニング・機能解析で素晴らしいお仕事をされています（Dev Cell. 2004、Development 2006、Proc Natl Acad Sci USA. 2011）。

最近では、細菌とヒト細胞の相互作用に着目し、全く新規の多能性獲得現象（リプログラミング）を発見され、独創的なフィールドを開拓されています（PLOS ONE, 2012）。この現象は、がん細胞でも同様に見られ、がんのリプログラミング、治療応用としても興味が持たれます。

本セミナーでは、太田先生の“驚きの発見”について、ご紹介頂きます。皆様、奮ってご参加ください。

連絡先：平尾（がん進展制御研究所 遺伝子・染色体研究分野 内線6755）